

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の注意事項

日時	注意事項			
事前検査	<ul style="list-style-type: none"> ・検査を安全に行うために全身状態の診断と感染症の有無のため採血や心電図検査などを行う場合があります。 ・血をサラサラにする薬を内服してる方は渋谷区の胃がん健診の対象外になりますので、事前に抗凝固剤の内服の有無を確認させていただきます。 ・心臓病や緑内障、前立腺肥症などがある方は、事前にお知らせください。 			
検査前日	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールなど暴飲暴食をさげ、消化に良いものを食べるようにしましょう。 			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">◇午前検査の方</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・夕食は早めに済ませてPM 9 時以降の固形物摂取はせず、早めの就寝を心がけてください。 ・PM 9 時以降も固形物が入っていない飲料は飲水可能です。 ・内服中の方は、検査前日の就寝前までの内服は可能です。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">◇午後検査の方</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・検査日のAM 3 時以降の固形物摂取はしないでください。 ・AM 3 時以降も固形物が入っていない飲料は飲水可能です。 ・内服中の方は、検査当日朝までの内服は可能です。 </td> </tr> </table>	◇午前検査の方	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食は早めに済ませてPM 9 時以降の固形物摂取はせず、早めの就寝を心がけてください。 ・PM 9 時以降も固形物が入っていない飲料は飲水可能です。 ・内服中の方は、検査前日の就寝前までの内服は可能です。 	◇午後検査の方
◇午前検査の方	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食は早めに済ませてPM 9 時以降の固形物摂取はせず、早めの就寝を心がけてください。 ・PM 9 時以降も固形物が入っていない飲料は飲水可能です。 ・内服中の方は、検査前日の就寝前までの内服は可能です。 			
◇午後検査の方	<ul style="list-style-type: none"> ・検査日のAM 3 時以降の固形物摂取はしないでください。 ・AM 3 時以降も固形物が入っていない飲料は飲水可能です。 ・内服中の方は、検査当日朝までの内服は可能です。 			
検査当日 (/)	<ul style="list-style-type: none"> ・検査当日の車・バイク・自転車での来院は、絶対にご遠慮ください。 ・タオルをなるべく持参してください。 ・食事は絶対にしないでください。 ・タバコ・飲酒は、禁止です。 ・検査 1 時間前まで水やスポーツ飲料・お茶などで飲水することは可能です。 ・飲水禁：味噌汁やスープ、牛乳、ジュースなど ・当日は身体を締め付ける服装は避けてください。 (和服、ボディスーツ、ガードルなど) 			
	予定検査時間〔 : 〕直前で来院してください。			
検査後	<ul style="list-style-type: none"> ・前処置の時間や待ち時間なので検査時間は多少前後します。検査時間から1時間以上予定を入れな いでください。 ・鎮痛剤や鎮静剤を使用した患者さんは、30分から1時間ほど当院にて経過をみてから帰宅しますの で、検査時間からトータル2 時間ほどの時間的余裕をもっておいてください。 ・飲水や食事は、検査後1時間から1時間半後に摂取してください ・組織やポリープを採取した方は、刺激物や熱い食べ物、アルコールなどの摂取は3日ほど避けてく ださい。 ・組織検査した場合は、結果まで10日ほどかかりまので後日に再診察をしてください。 			

裏面に胃カメラの手順

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の手順

前処置	①検査15分前	胃の中を観察しやすいようにさせるお薬を水で内服します。
	②検査 5分前	胃や腸の動きを止める鎮痙剤の筋肉注射をする場合があります。 (禁忌：前立腺肥大・緑内障・心疾患・甲状腺機能亢症)
	■経口内視鏡の場合	
	③検査 5分前	<ul style="list-style-type: none"> ・キシロカインビスカスを使用する場合は、ビスカスをのどに溜めたのち、検査直前に吐き出してもらいます。 ・キシロカインスプレーを使用する場合は、5分間の間に3回ほど、のどにスプレーをしてもらいます。次は⑥から
	■経鼻内視鏡の場合	
	③検査10分前	・鼻腔内に5000倍ボスミンを塗布します。
	④検査 5分前	<ul style="list-style-type: none"> ・キシロカインビスカス2%を、スコープを通す側の鼻にゆっくりと注入し、次に経鼻内視鏡用スティック(14Fr)を同側の鼻に挿入します。 ・経口内視鏡同様に口腔内にもキシロカインビスカスやキシロカインスプレーで麻酔してもらいます。
	⑤検査 3分前	・経鼻内視鏡用スティックを14Frから16Frに変更し挿入します。
⑥検査直前	<ul style="list-style-type: none"> ・経口内視鏡の場合は、マウスピースを口にくわえてもらいます。 ・鎮静剤使用の場合は、ドルミカム単剤かペンチジンを併用静脈注射します。 (区の胃がん健診では鎮静剤を使用できない場合があります。) 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻（鼻から挿入できない場合は経口に変更する場合があります）から、もしくは口から内視鏡を挿入し、10～15分ほどで検査終了します。 ・ブスコパンを筋注していない患者さんで検査中に蠕動運動が激しい場合は、ミンクリア内容散布液(蠕動運動抑制剤)を内視鏡から散布し、蠕動を抑制し観察します。 ・むせてしまうため検査中は唾液を飲み込まず吐き出し、持参したタオルで唾液を拭き取るようにしてください。 	